

KVK

シングルレバー式洗髪シャワー
KM5271(Z)TTKE[カプラー部逆止弁付仕様]

施工説明書

施工業者様へ

施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

安全上のご注意

- ここに示した警告は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
- ここに示した注意は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。
- この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です

警告

湯水を逆に配管しないでください。

禁止

湯水逆流

水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。必ず給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。

禁止

85℃より高温

85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

加工及び接合、市販浄水器具の取り付け等の改造はしないでください。

禁止

器具破損

器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

給湯に蒸気を使用しないでください。

禁止

蒸気

器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。

寒冷地仕様の場合

禁止

水抜き

水抜きつまみをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓(給水・給湯管含む)には絶対に通電しないでください。

禁止

通電

通電すると水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

注意

器具に強い力や衝撃を与えないでください。

禁止

強い力

器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

めっき部品は、ぶついたり落したりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。

禁止

めっき

めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。

他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。

禁止

水圧変動

やけどのおそれがありますので、やけどをのそのおそれのないところまで水圧変動をおさえた配管設備にしてください。

1 ページ

配管接続部をテーパねじに接続しないでください。

禁止

テーパねじ

テーパねじに接続すると、接続部がゆるんだり、パッキンが切れたりして、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

止水栓取り付け箇所や給水・給湯管との接続箇所は、点検口を設けるなど点検しやすい状態にしてください。

禁止

点検口

点検ができないと万一漏水発生時には発見が遅れて家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

小型電気温水器(即湯器)等に給湯ホースを接続する際は、ステンフレキ管等を介してください。

禁止

ステンフレキ管等

高温の熱により給湯ホースの寿命が短くなり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

取り付け完成図と各部の名称

シャワーヘッド

シャワースタンド

吐水切換ボタン

レバーハンドル

本体

寸法図

板厚 max15

φ50

(153)

(113)

取付穴径 φ36~38

(405)

(423)

(145)

139 [209]

(137)

φ52

取付穴径 φ36~38

板厚 max25

シャワーホース長さ L=1100

G1/2

取り付け前に

① 使用水圧(A=(給湯器の最低作動水圧)+(配管圧力損失))

(1) 瞬間給湯器との組み合わせ(設定条件 水温:25℃ 給湯器温度調節:高温 吐水温度:42℃ ハンドル全開)
【比例制御式】最低必要水圧:A+50.0KPa(動水圧)、最高水圧:0.75MPa(静水圧)

(2) 貯湯式給湯器との組み合わせ
【給湯・給水圧力】最低必要水圧:A+50.0KPa(動水圧)、最高水圧:0.75MPa(静水圧)

② レバーハンドルは全開で使用してください。給湯器が着火しない場合があります。

③ 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
給水圧力と給湯圧力の差が大きすぎると逆流または、適正な吐水温度が得られず、温度調整が容易にできなくなることがあります。その場合は逆止弁(別売)を取り付けてください。

④ 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。

⑤ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。

⑥ 給湯器の給湯温度は、安全のため60℃給湯をおすすめします。

⑦ 給湯器からの配管是最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。

⑧ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。

⑨ 本製品は改造(加工及び接合、市販浄水器具の取り付け等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。

⑩ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

2 ページ

分解図

この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。

1 レバーハンドル

2 キャップ

3 六角穴付き止めねじ

4 固定ナット

5 カートリッジ

6 本体

7 シートパッキン

8 輪パッキン

9 スリップ板

10 フランジ

11 ブレードホース

12 保護キャップ

13 クイックファスナー

14 ジョイント

15 パッキン

16 プラグ

17 キャップ

18 カプラー

19 シャワーホース

20 シートパッキン

21 シャワースタンド

22 ストレーナ

23 シャワーヘッド

24 パッキン

25 泡まつ器

26 シャワーフェイス

27 クリップ

28 水抜き付きカプラー

29 逆止弁付ジョイントセット

※給水圧力と給湯圧力の差が大きく逆流するおそれがある場合には、逆止弁(別売)を取り付けてください。

寒冷地仕様

28

29(※)

3 ページ

取り付け手順 1

1 給水管内の清掃

配管工事後、必ず給湯・給水管内を清掃してください。

2 止水栓(別売)の取り付け

給湯管と給水管の間隔は100mm程度で取り付けます。
止水栓はストレーナ付が最適です。
寒冷地用は水抜き栓付止水栓を取り付けてください。

ストレーナ付 止水栓

水抜き栓付 止水栓

(100mm)

止水栓(別売)

(100mm)

3 本体の固定

① 本体よりフランジ類をはずします。
(シートパッキン(白)ははずさない)

② ホース先端を傷つけないようカウンターの穴に工具掛け穴が真後ろにくるように本体を差し込みます。
【お願い】
本体取り付けの際は、給水・給湯ブレードホースが正面を向くように取り付けてください。

③ パッキン類を右図の順に元ねじ部に差し込み、フランジで締め付け固定します。
【注意】
・専用工具G26(別売)を使用して本体を保持してください。
レバーハンドルを持って締め付けますと破損し、漏水のおそれがありますので、これらは持たないでください。
・フランジの締め付けは、専用工具G11(別売)で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、本体が緩んだり、がたつきが発生し、漏水して家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

レバーハンドル

本体

工具掛け穴(背面)

専用工具G26(別売)

給水・給湯ブレードホース

専用工具G11(別売)

取り付け穴 φ36~38

輪パッキン(黒)

スリップ板

フランジ

はずさないシートパッキン(白)

4-1 止水栓との接続 (逆止弁無し仕様・逆止弁付仕様[Z664 別売]共、接続方法は同じです。)

① ジョイントを止水栓に接続します。
【注意】
・接続は適切な工具(スパナ等)で締め付けてください。
締め付けトルクの目安は約2000N・cmです。
締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水の原因となります。
・薄肉の接続管(ニップル等)にはジョイントを接続しないでください。パッキンが切れ、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。
・止水栓がしっかり固定されている事を確認してください。
固定されていないとブレードホースが抜け、漏水の原因となります。

ジョイントまたは逆止弁付ジョイント(別売)

止水栓(別売)

しめる

スパナ等

4 ページ

取り付け手順2

4-2

② ブレードホースのつばとジョイントのつばが
すき間なく合うまで差し込んでください。

【△注意】
・ブレードホースはR60以上の大きな曲げ半径になるよう
に曲げてください。鋭角に曲げたり、混合栓根元で曲げたり
しないでください。(A図)
急に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損を起こし、漏水
して家財などを濡らすおそれがあります。
・上下戻り配管はやめてください。(B図)
ウォーターハンマーなどでブレードホースが振動した際、
屈曲部からの水漏れ発生の原因となります。
・ブレードホース同士などへの不要な接触は避けてくださ
い。摩耗による外傷で、ホース性能の劣化の可能性があ
ります。
【お願い】ブレードホースは切断しないでください。

③ クイックファスナーを、ブレードホースとジョイントのつばにはめます。

④ クイックファスナーに保護キャップを
はめます。この時、保護キャップはブ
レードホースにはめてから、クイック
ファスナーまでおろします。

ブレードホース

ジョイント

つば

すき間なく
合うまで
差し込む

A図

B図

クイック
ファスナー
広げない

つば

すき間なく

つばにはめる

はめる

クイック
ファスナー

保護キャップ

ブレードホース

クイックファスナー

1. はめる

2. はめる

【△注意】
ブレードホースを上引っばって、抜けない
ことを確認してください。
しっかりはまっていないと漏水して家財などを
濡らすおそれがあります。

抜けないことを確認

5 ページ

5

シャースタンドの取り付け
シャースタンドをフランジで固定します。

【△注意】
フランジの締め付けは専用工具G11(別売)
で確実に行ってください。
しっかり締め付けられていないと、シャース
タンドが緩んだり、がたつきが発生し、漏
水して家財などを濡らす財産損害発生のお
それがあります。

専用工具
G11(別売)

シャースタンド

シートパッキン

取り付け穴
φ36~38

輪パッキン

スリップ板

フランジ

6-1

シャワーホースの接続

① (一般地仕様の場合)カブラーとシャワーホースの接続が緩んでいないか確認してください。
緩んでいる場合はカブラー手締め後、約30度増し締めしてください。
(締め付けトルクの目安は約100N・cm)
(寒冷地仕様の場合)水抜き付きカブラーとシャワーホースを接続します。
水抜き付きカブラー手締め後、約30度増し締めしてください。
(締め付けトルクの目安は約100N・cm)

【△注意】カブラー等の接続の際は、以下の内容に注意してください。
漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
※カブラーの締め付け不足や締め付け過ぎ
※シャワーホースのセレーション部以外に工具をかけない
※シャワーホースはねじらない

シャワーホース

カブラー

プライヤー等で固定

ここに工具をかける
セレーション部

しめる

シャワー
ホース

水抜き付き
カブラー

プライヤー等で固定

一般地仕様

寒冷地仕様

② カブラーのキャップをはずし、スライダーを下に下ろしてから
プラグヘカチッと音がするまではめ込みます。(寒冷地仕様の
場合はエルボが下向きになっていることを確認します。)
取り付け後、カブラー(寒冷地仕様は水抜き付カブラー)を引っ
ぱってはずれてないことを確認します。

【△注意】
シャワーホースは止水栓に引っ
掛けないで、給湯パイプの外側
にぶらさげてください。
シャワーホースが引き出しにく
くなったり、ホース損傷により
漏水で家財などを濡らす財産損
害発生のおそれがあります。

下りている状態

スライダー

カブラー

下りていない状態

スライダー
下ろす

カブラー

キャップ
はずす

プラグ

カチッ

カブラー

押し込む

カチッ

エルボは
下向きに

止水栓

止水栓

シャワー
ホース

シャワー
ホース

6 ページ

6-2

【△注意】
カブラー取り付け後、確実に接続されて
されているか、右記の確認を行ってくだ
さい。確実に接続されていないと、漏水
して家財などを濡らすおそれがあります。

・スライダーが上がって
いること

・カブラーを真下に引っ張って
はずれないこと

スライダー

カブラー

カブラー

はずれない
こと

取り付け後の点検と清掃 1

通水確認

【△注意】水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めを5〜6回繰り返し、配管接続部及び水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

泡まつ器・シャワーフェイス・ストレーナ清掃のお願い

シャワーヘッドの泡まつ器・シャワーフェイス・ストレーナにゴミ等がつかまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりします。
また、給水・給湯圧力条件によっては逆流または、温度調節が容易にできなくなる場合がありますので、施工後必ず清掃してください。

① 湯水全開で20〜30秒吐水させます。
② ドライバー等でクリップをはずします。
③ シャワーヘッドをはずし、ストレーナ(1個)を取りはずします。
④ シャワーフェイスをはずして、泡まつ器(1個)を取りはずします。
⑤ 泡まつ器、シャワーフェイス、ストレーナをブラシで水洗いします。

③ はずす

ストレーナ1個

② はずす

ドライバー等

⑤ 清掃

歯ブラシなど

泡まつ器

ストレーナ

④ はずす

泡まつ器1個

パッキン

シャワーフェイス

シャワーフェイス

シャワーヘッド

《清掃後の組み立て》

はずした逆の手順で組み立ててください。
その際、シャワーフェイスを締め込む時、約2回転程締め込んで、シャワーフェイスつまみ部が後ろで止まるまで締め込んでください。
【お願い】止まるまで締め込んだら、それ以上締め込まないでください。破損するおそれがあります。

下から見た図

シャワーフェイス

つまみ部

後ろ

取り付け後の点検と清掃 2

止水栓による流量の調節方法

止水栓による流量の調節方法は下記の方法で行ってください。
レバーハンドルのクリック手前で適量(湯側・水側それぞれが5L/min程度)になるように止水弁で調節します。
水圧が低く、クリック手前で適量が得られない場合は、止水弁を全開にしてください。

クリック

適量

湯側止水弁

あける

しめる

止水栓(別売)

水側止水弁

あける

しめる

故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。			
現 象	お調べいただくところ	処 置	参照ページ及び項目
吐水量が 少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	8 ページ 「止水栓による流量の調節方法」
	泡まつ器・シャワーフェイス・ストレーナに ゴミ等がつかまっていませんか	泡まつ器・シャワーフェイス・スト レーナを清掃する	7 ページ 「泡まつ器・シャワーフェイス・ ストレーナ清掃のお願い」
	ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切換 式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯器の能力を適正能力にセットする	—
	泡まつ器・シャワーフェイス・ストレーナは 凍っていませんか	泡まつ器・シャワーフェイス・スト レーナにぬるま湯をかける	—
高温しか 出ない	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	8 ページ 「止水栓による流量の調節方法」
低温しか 出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	8 ページ 「止水栓による流量の調節方法」
温度調節が うまく できない	給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
	湯側・水側止水弁は十分に開いてい ますか	止水弁で流量を調節する	8 ページ 「止水栓による流量の調節方法」
	給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
	泡まつ器・シャワーフェイス・ストレーナに ゴミ等がつかまっていませんか	泡まつ器・シャワーフェイス・スト レーナを清掃する	7 ページ 「泡まつ器・シャワーフェイス・ ストレーナ清掃のお願い」
吐水が 飛び散る	泡まつ器・シャワーフェイス・ストレーナに ゴミ等がつかまっていませんか	泡まつ器・シャワーフェイス・スト レーナを清掃する	7 ページ 「泡まつ器・シャワーフェイス・ ストレーナ清掃のお願い」
クリック手前 で使用する と・吐水が 乱れる ・湯側に しても 低温しか でない	湯側・水側止水弁は十分に開いていま すか	止水弁を開ける	取扱説明書4ページ 「量の調節方法」 8 ページ 「止水栓による流量の調節方法」

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】
【△注意】・修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。
水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。
・メンテナンスは、専用工具G26(別売)を使用して本体を保持しながら行ってください。
レバーハンドルを持ってはずしますと破損し、漏水のおそれがありますので、これらは持たないでください。